

マレーシア・タイ・インドネシアにおける 訪日旅行への意識、行動、興味に関する調査を実施 ～イマドキの訪日旅行事情について～

株式会社ジェイアール東日本企画（代表取締役社長：原口 幸）は、A S E A N 諸国における、訪日旅行に対する考え方や行動を把握し、日本を「魅力的な旅行先」として位置付けるファクターを明らかにするため、マレーシア・タイ・インドネシアの訪日旅行経験者および訪日旅行予定者（計734サンプル）を対象に、「訪日旅行への意識、行動、興味に関する調査」を実施しました。

以下は、今回の調査結果から浮かび上がってきたトピックスの一例です。

訪日経験者

- 日本以外に検討した渡航先は「**韓国**」「**香港**」。
マレーシア人は「オーストラリア」「台湾」、タイ人、インドネシア人は「シンガポール」「中国」も検討。
- 日本を選んだ理由は「**以前から行きたかった**」「**テレビ番組を見て**」。
- Web経由での情報収集、旅行予約**が進んでおり、タイ人はその傾向が強い。
- 日本での買い物体験に対する満足度は高く、**インドネシア人は「リーズナブルな価格」、マレーシア人、タイ人は「ファッションアイテムの豊富さ」**に満足。
- 日本で見たこと、体験したこと、食事、買い物先などの多くが、**家族・友人に推奨されている**。

訪日予定者

- 日本のイメージは「**美しい自然や景色**」「**豊富な食べ物**」。
- 日本に行きたい理由は「**以前から行きたかった**」「**友人や家族の体験を聞いて**」。
- インドネシア人は「**伝統的な日本の料理**」、マレーシア人は「**観光(史跡や歴史的建築物など)**」や「**伝統的な日本工芸**」を体験したいと考えている。
- タイ人は、マレーシア人、インドネシア人と比べ、日本のテーマパークの利用意向が低い。

A S E A N エリアではスマートフォンの急速な普及によりインターネットを活用できる環境が整いつつあり、旅行スタイルにも大きな影響を与えています。同時にL C C 就航の増加により、パック旅行・個人旅行・旅行代理店を通さない旅行等、様々な選択肢が出てきています。

今回の調査では「日本のイメージ」「日本以外に検討した渡航先」「訪日旅行の目的」などの訪日旅行にいたる経緯を確認し、「訪日旅行の計画手段」を通じてネットによる情報収集・旅行計画の実態、そして「訪問したアミューズメントパークとその評価」「買い物をした場所および満足度」の把握と、訪日旅行に関する推奨意向・推奨方法についても質問を設定し、分析を行ないました。

結果、同じA S E A N 諸国でも、訪日旅行の目的や旅行のスタイル、訪問意向、購買行動などに共通点と相違点がみられ、今後A S E A N からの訪日旅行需要の拡大のためには、各国の特性を見極めて、国別に適切なアプローチを行なう必要があることが予測される結果となりました。

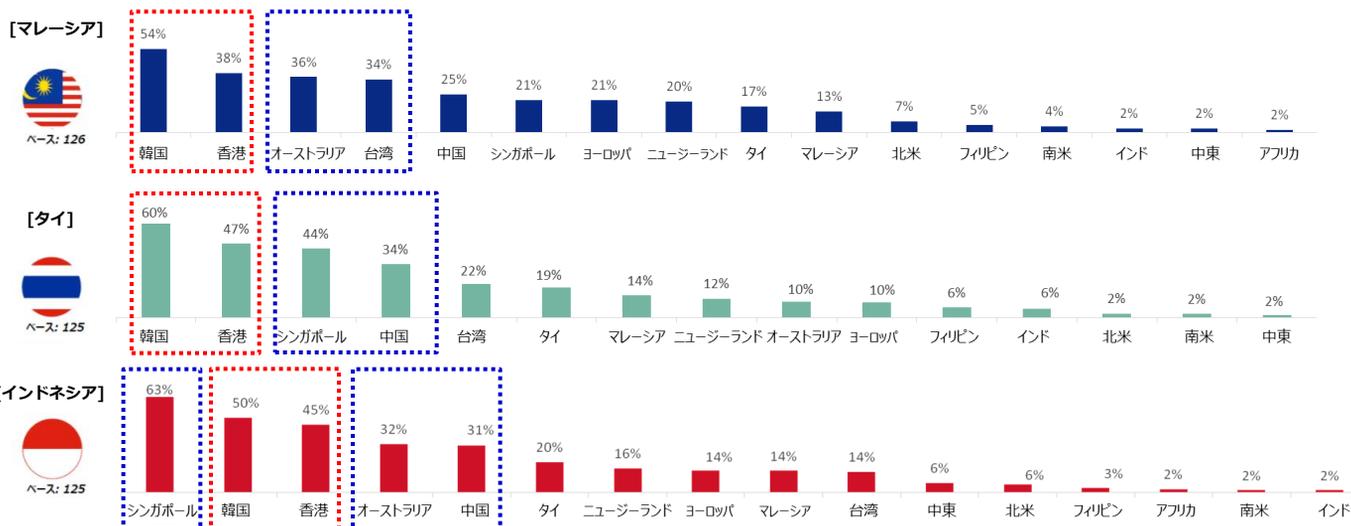
ジェイアール東日本企画は、今回の調査結果はもとより、J R 東日本グループの資産やこれまでの業務において培われた知見・ノウハウを活用して、インバウンド施策における最適なアプローチ手法を提案・実施してまいります。

訪日経験者 TOPIX 1

日本以外に検討した渡航先は「韓国」「香港」。マレーシア人は「オーストラリア」「台湾」、タイ人、インドネシア人は「シンガポール」「中国」も検討。

マレーシア人、タイ人、インドネシア人の約6割が「韓国」、約4～5割が「香港」を、日本以外の候補先として検討したと回答。マレーシア人は「オーストラリア」「台湾」、タイ人、インドネシア人は「シンガポール」「中国」も候補先として挙げている。アジアの特定国や、日本への渡航とほとんど距離の変わらないオーストラリアとの比較検討が行なわれている実態が伺える。

<訪日旅行を決める際に比較・検討した国>

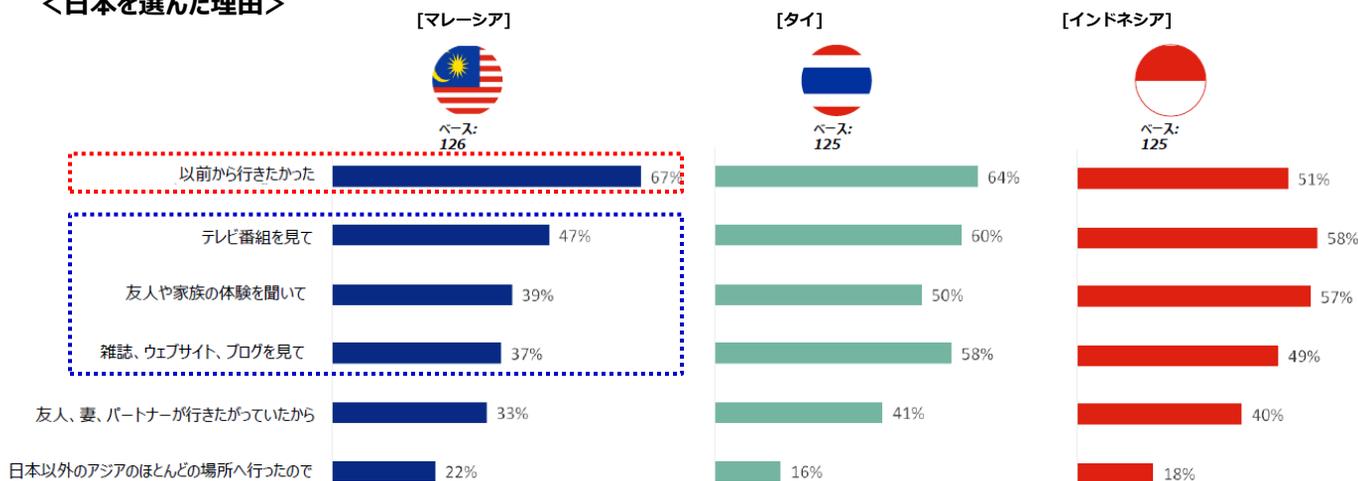


訪日経験者 TOPIX 2

日本を選んだ理由は「以前から行きたかった」「テレビ番組を見て」。

「以前から行きたかった」「テレビ番組を見て」「友人や家族との体験を聞いて」「雑誌・ウェブサイト・ブログを見て」の4つが、訪日の大きな理由と考えられるが、マレーシア人は特に「以前から行きたかった」と回答した割合が高く、訪日欲求が強い傾向が見られる。

<日本を選んだ理由>

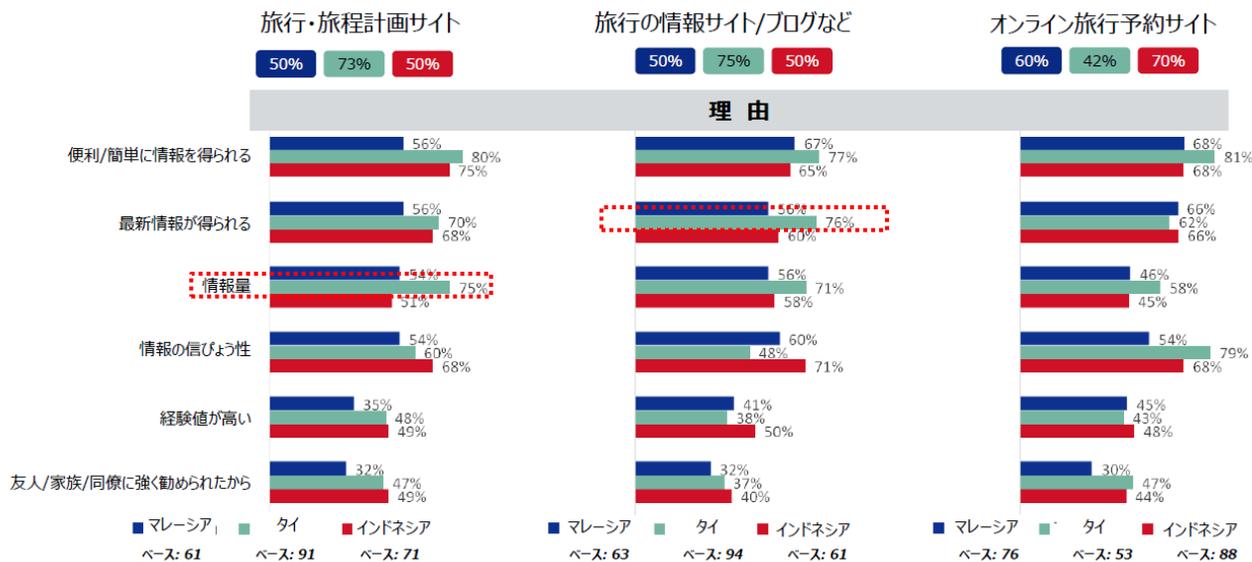


訪日経験者 TOPIX 3

旅行計画サイトや旅行情報サイト、ブログなど、Web経由での情報収集が進んでいる。特にタイ人はその傾向が強い。

タイからの旅行者の多くは、日本への旅行を計画する際、旅行計画サイトや旅行情報サイト、ブログなど、インスピレーションを得られるサイトを利用しており、「情報量」や「最新情報が得られること」を重視している。

<旅行の計画手段と理由>

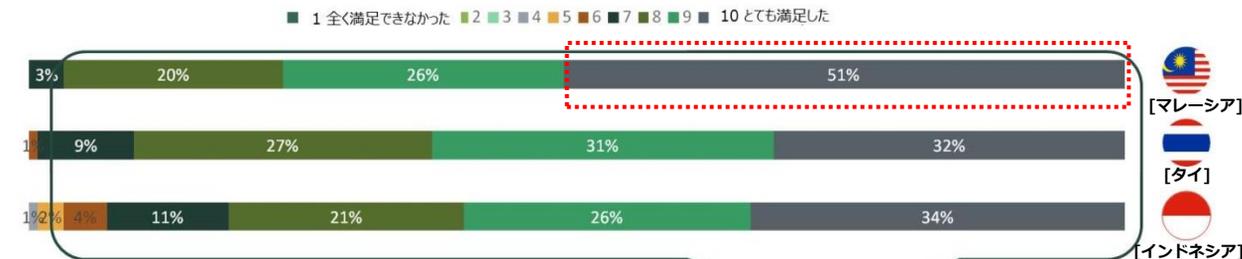


訪日経験者 TOPIX 4

日本での買い物体験に対する満足度は高く、インドネシア人は「リーズナブルな価格」、マレーシア人、タイ人は「ファッションアイテムの豊富さ」に満足。

日本での買い物体験に関する満足度は各国とも高く、マレーシア人の半数が、10段階評価で「10点」と回答し「ファッションアイテムの豊富さ」をその理由としてあげている。一方、インドネシア人の多くは「リーズナブルな価格」を理由として回答している。

<買い物に対する満足度（10段階評価）>



理由	マレーシア	タイ	インドネシア
ベース	122	124	125
リーズナブルな価格	20%	25%	40%
ファッションアイテムの豊富さ	32%	31%	18%
良い品質	17%	25%	24%
買い物をする場所(良い雰囲気)	8%	10%	19%
エキゾチックなアイテム(ユニーク)	5%	11%	16%
消費者に対する良いサービス	9%	9%	14%



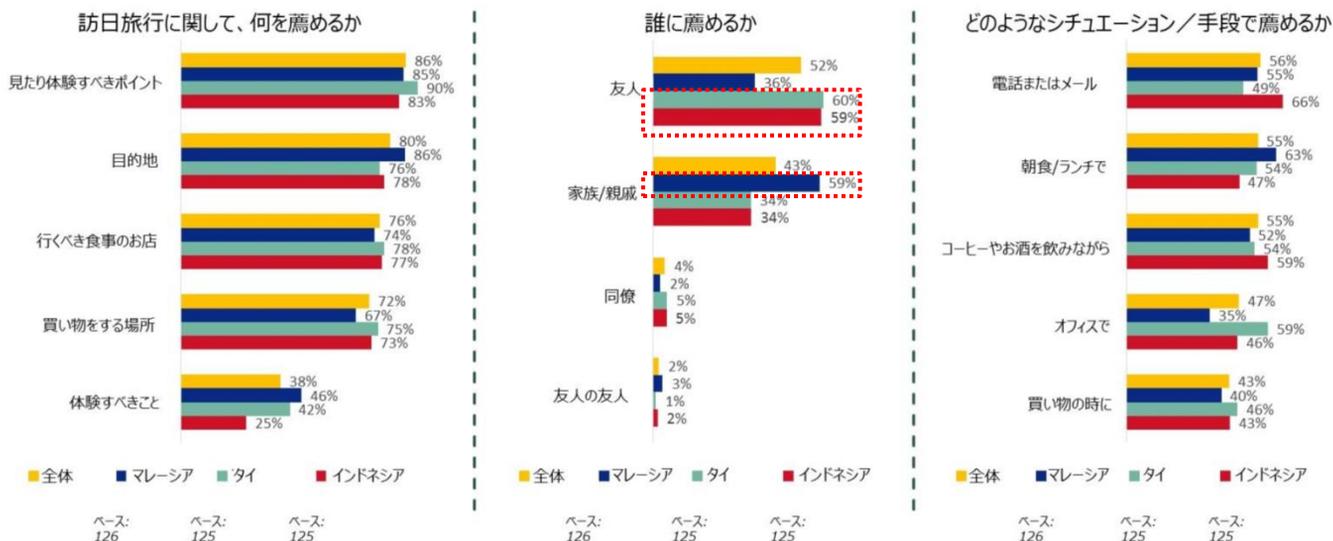
満足した

訪日経験者 TOPIX 5

日本で見たこと、体験したこと、食事、買い物先の多くは、家族・友人に推奨されている。

日本で行くべきところや体験すべきところ、食事・買い物場所に至るまで、ほぼ旅行全体を通じて、家族・親戚・友人などの親しい相手に推奨されている。マレーシア人は家族・親戚に、タイ人、インドネシア人は友人に推奨する傾向が高いことが伺える。

<訪日旅行の推奨行動>

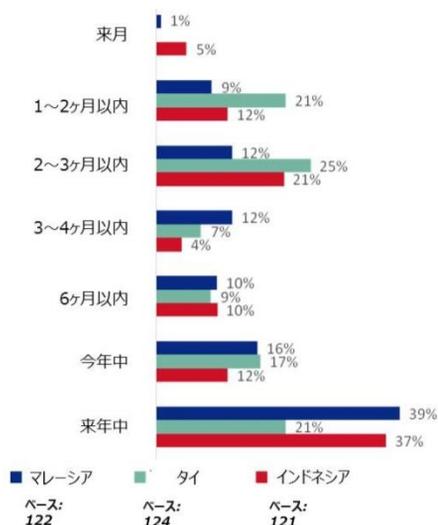


訪日予定者 TOPIX 1

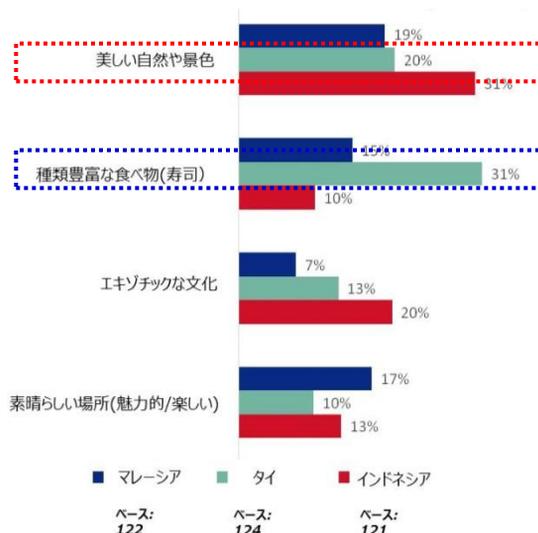
日本のイメージは「美しい自然や景色」「豊富な食べ物」。

タイ人の旅行者予定の多くが、1年以内の日本への渡航を計画しており、日本のイメージについて「種類豊富な食べ物（寿司）」を挙げている。一方、インドネシア人は「美しい自然や景色」をイメージとして挙げている。

<日本へ行く予定の時期>



<日本のイメージ>

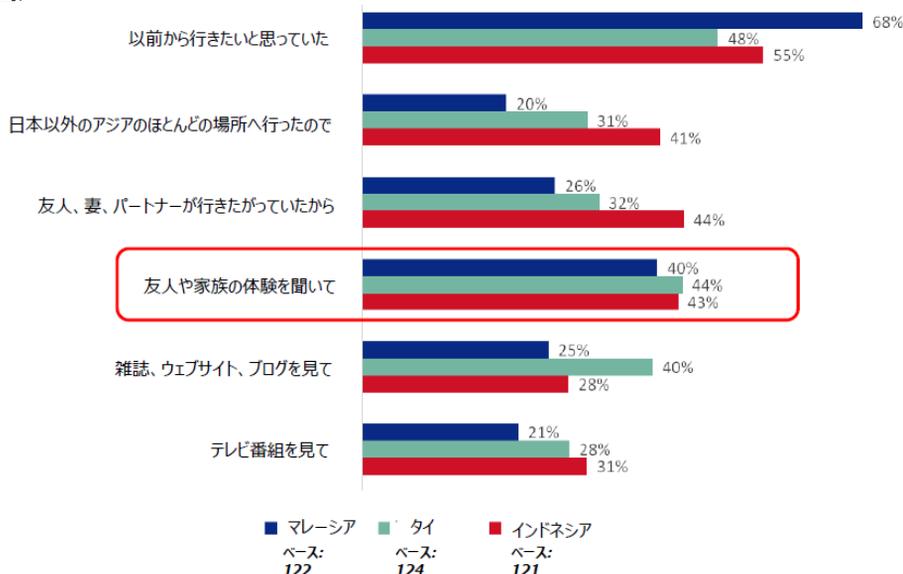


訪日予定者 TOPIX 2

日本に行きたい理由は「以前から行きたかった」「友人や家族の体験を聞いて」。

国により差が見られるものの「友人や家族の体験を聞いて」と回答した割合が、各国とも4割強あり、親しい人からの口コミが動機づけとなっていることが伺える。

<訪日旅行の理由>

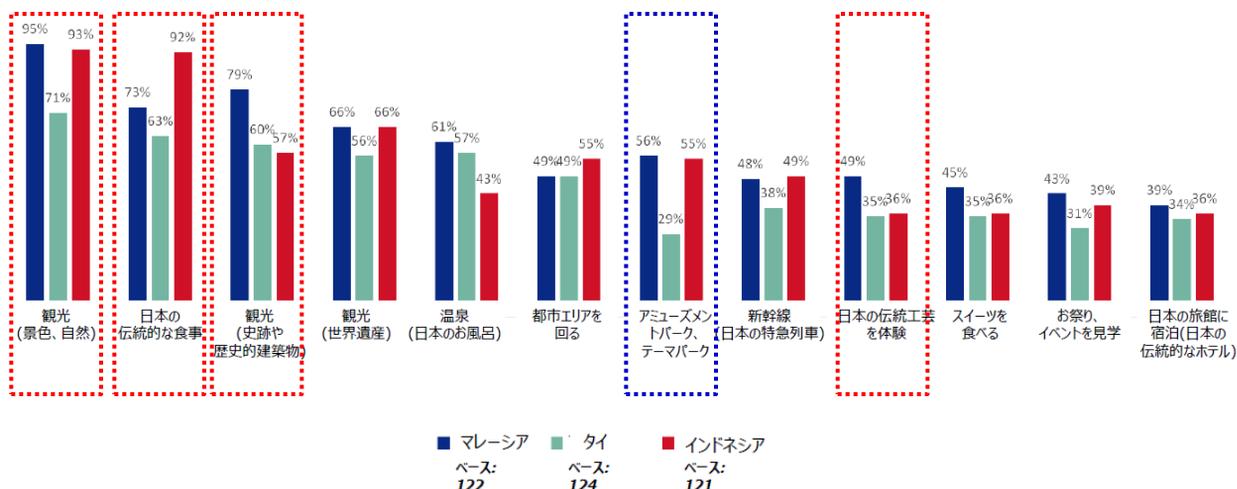


訪日予定者 TOPIX 3

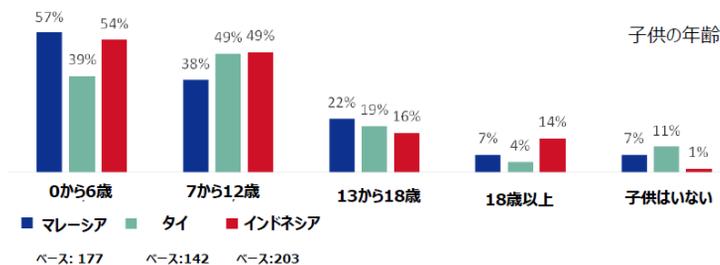
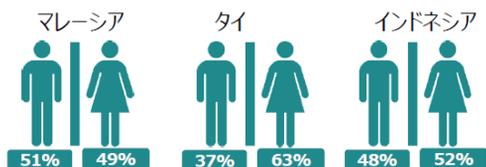
インドネシア人は「伝統的な日本の料理」、マレーシア人は「観光(史跡や歴史的建築物など)」や「伝統的な日本工芸」を体験したいと考えている。

「観光」に関しては、【史跡や歴史的建築物】より【景色・自然】の体験意向の方が高い。インドネシア人は「伝統的な日本の料理」、マレーシア人は「観光(史跡や歴史的建築物など)」や「伝統的な日本工芸」を体験したいと考えており、「テーマパーク」の体験意向も高い一方、タイ人の「テーマパーク」体験意向は低くなっている。

<日本で体験したいこと>



<プロフィール>



年齢	マレーシア	タイ	インドネシア
ベース	248	249	246
18歳～20歳	-	2%	2%
20歳～24歳	10%	10%	8%
25歳～29歳	22%	16%	15%
30歳～34歳	32%	26%	24%
35歳～39歳	17%	18%	24%
40歳～44歳	10%	14%	9%
45歳～49歳	7%	8%	7%
50歳～54歳	3%	4%	10%

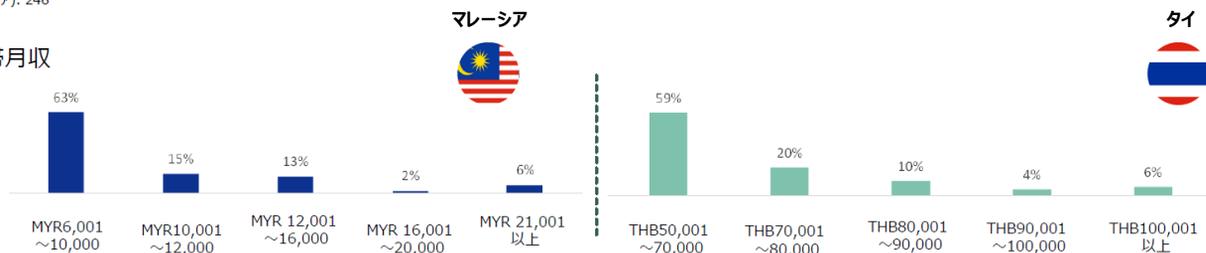
結婚状況	マレーシア	タイ	インドネシア
ベース	248	249	246
独身	29%	43%	17%
既婚	69%	50%	59%
パートナーと同居している	2%	5%	22%
離婚、死別	1%	2%	1%

ベース (マレーシア): 248

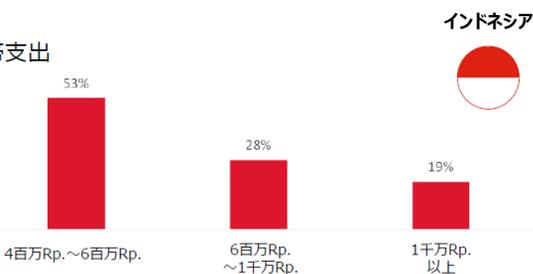
ベース (タイ): 249

ベース (インドネシア): 246

世帯月収



世帯支出



ベース (マレーシア): 248

ベース (タイ): 249

ベース (インドネシア): 246

<調査概要>

項目	内容
調査目的	アセアン主要国(マレーシア・タイ・インドネシア)における訪日観光旅行の意識と行動を探ること
調査方法	インターネット調査
調査対象	セグメントA: 日本へ行ったことはないが、2年以内に日本へ行くつもりの人々 (367人) セグメントB: 過去に日本へ行ったことのある人々 (367人)
抽出方法	CMA提携パネルより対象者条件に合致する対象者をオンラインアンケートにて抽出
有効回収数	セグメントA: 日本へ行ったことはないが、2年以内に日本へ行くつもりの人々 合計サンプル人数: 367人 セグメントB: 過去に日本へ行ったことのある人々 合計サンプル人数: 367人
調査時期	2017年3月1日～7日